

住民の安全と平和を守るため 普天間基地の無条件撤去を求めよ

基地問題について、自治体と国の態度が問われている。麻生知事の米軍訓練の本土受け入れ発言は、まさに福岡県民の問題でもあり、沖縄県民への政府案の押しつけである。米軍の存在は戦争の抑止力ではなく、世界への侵略力となり日本を最前線基地化してしまうとして、次のような質問があった。

市長の政治姿勢

平和の問題

問 日米対等・平等の立場から、普天間基地の無条件撤去を求めることが必要と考えるが、どうか。

答 普天間基地は滑走路が市街地に囲まれた危険な場所にあり、現状のままでの継続は問題があると考え、沖縄県の長年の負担への配慮から、麻生知事は米軍訓練の本土への一部移転を示したと考えるが、移転先への新たな負担は、地域住民に影響を及ぼす大変デリケートな問題と思う。

日本の安全保障にかかわる大きな問題であり、地元自治体・住民の理解なくして解決はできないと考える。

学校再編整備 第二次実施計画(案)

問 少子高齢化が進む本市では、学校の存在の位置づけや将来展望について、今

後のまちづくり・地域づく

りと合わせた総合的な判断が必要で、単に学校だけを切り離して考えられない。議論や検討を十分行い、当事者である子供と地元住民の意見をどう反映させるかが求められるが、地域での議論の位置づけを聞きたい。

答 パブリック・コメントを実施するとともに、再編対象校区に出向いてPTAや地域住民に説明し、出された意見は整理・取りまとめの上、通学区域審議会へ報告することになっている。

同審議会では、これらの意見も参考にしながら総合的に審議され、最終的には教育委員会で成案化を図る予定である。

国民健康保険税の 税率改正(案)

問 二十一年度国保会計が単年度赤字となり、今後さらに増大すると予測されるため、基金の取り崩しと保険税の値上げが見込まれているが、赤字の原因と増税

の理由を聞きたい。

また、国・県へ予算措置を求め、現状を維持する努力をすべきだと思うが、見解を聞きたい。

答 赤字の主な原因は、被保険者の所得減による保険料の減少、医療費の伸び、財政安定化支援事業及び保険料軽減による影響等である。



大牟田市国保の特定健診を受けましょう

税率改正の理由は、医療費が年々増加する一方、保険料が減少傾向にあることである。また、二十年度の医療制度改革以降、保険料支援制度の交付金等の減少も影響があると分析する。今後、医療費抑制のため

に健康づくり事業の推進に努め、国・県等へ財政支援策の強化を強く要請し、財政基盤の安定化を図りたい。不本意だが、税率改正は不可避の状況であり、理解と協力をお願いしたい。

公立保育所の民営化

問 子育て支援がさらに必要な時代に、行政が保育から一歩手を引くことは問題であり、二カ所の公立保育所は存続すべきである。一カ所にする理由を聞きたい。

答 今回の民営化は、十六年の公共施設見直し方針論議以降の経過を踏まえ、今後のあり方の検討を重ねた結果である。

いきいき子どもプランII後期行動計画に基づいた取り組みが必要だが、予算の確保も必要なことから、限られた行政資源の集約・再配分が必要であり、一園の民営化を判断した。

今後とも、積極的な子育て支援に取り組んでいく。